

2013年度科研費等外部資金間接経費の使途について(アンケート結果)

2013年12月現在

ご意見	ご意見へのご回答
科研費関係者に共通の秘書として、研究者・研究支援者をおいてください。(フルタイムでなくともよいので、定時、一定時間勤務できる方がのぞましい。)業務内容は(1)研究費支出関係の書類作成、助成金の管理、(2)調査、実験実施の際の受付窓口業務(調査用紙の配布、郵送、回収などの業務)	旧研究教育支援センター時には、専門の職員(非常勤)を雇用しておりましたので、人事等に雇用をお願いを致します。なお(2)につきましては、科研費直接経費による支出となります。
・すでにトナーを購入(約2万円)したので、間接経費の残額がありません。	間接経費は、所属機関に対して研究環境の整備を目的に交付されるものですので、直接経費についてのご意見として承りました。
現在実施している「高齢者の生活空間」特に、高齢受刑者の生活、犯罪の背景、将来展望などについては、既に、法務省の協力のもとに調査を実施済みです。 今後、多くの経費はかからないと予想しています。 経費の執行については、現在の基準で特に不便を感じません。 当然ですが、不正なことなく、適切に執行されることを願っています。	ご回答・ご意見ありがとうございました。
大学に対する社会的期待や要請が高まり、本学では多様な対応をしている。しかし、現実的な対応ができていないかといえは不十分な部分が多い。社会的な要請への対応とプロジェクト科目等を主体とした教育の充実を念頭に置いて、学部レベルでの共同研究集団の育成が必要である。そのために、学部長が決済できる研究費の創設を希望したい。	ご意見承りました。昨年度学内助言者会議等で間接経費の取り扱いについて、議論をすすめてまいりましたが、今後ご意見を参考に検討させていただきます。
(1)F棟ラウンジ内で無線LANが使えるとよいと思います。 (2)F棟ラウンジにもう何台かパソコンがあるとよいと思います。 (3)F棟ラウンジのパソコンのプリンターはカラーのレーザープリンターになっているとよいと思います。 (4)F棟ラウンジにカラーコピーのできる大型コピー機があるとよいと思います。 (5)学会でポスター発表をするとき、布にA0サイズで印刷して持参しています。毎回業者に依頼をしているので、5000円ほどの経費がかかります。大学で印刷できると非常に便利だと思います。 (6)K棟やM棟にあるコピー機の横にシュレッダーがあると、F棟ラウンジまで行かなくてもよいので、時間の節約になると思います。 (7)F棟ラウンジにストップウォッチがあまりなかったように記憶しているので、ストップウォッチを買っていただけると助かります。 (8)F棟ラウンジに持ち運びのできるプロジェクターがあるとよいと思います。	(1)情報メディアセンターの学内無線LAN整備計画との関連も考慮しながら、検討致します。 (2)F棟ラウンジをどのように捉えるか(研究施設として)によって、検討が必要であると考えております(センター等専門施設としての整備ならば問題はないと考えております。) (3)(2)に同じ。 (4)(2)に同じ。 (5)昨年度整備した大判プリンターは、A0(ゼロ)版に対応しております。布の印刷用紙を購入致しますので、ご利用ください(2013年12月9日納品済み)。 (6)検討致します。 (7)教育用(授業用)としての物品は、間接経費での整備の対象外となっております。研究用備品(貸出)として、購入を検討致します。 (8)(7)に同じ。なお研究用備品(貸出用)がございますので、そちらをご利用ください。
(1)複数の教員が共同で利用できる備品 →大型スキャナ(A3)(例:エプソンDS-50000) →設置されているエプソンSC-T5050利用できる光沢ロール紙 →高速カラープリンタ(例:RISO オルフィス) (2)学内のネットワークの整備 →無線LANの設置(V棟) (3)設備の整備 →U201棟のプロジェクターを修理、あるいは新規にしていきたい。 (※写真や映像を使った授業をする場合、学生に見えづらい状況が続いている) (4)国内外旅費 →個人研究費分の旅費の充実 →調査旅費への充当	(1)検討致します。なお、光沢ロール紙は購入致します(2013年12月9日納品済み)。 (2)情報メディアセンターの学内無線LAN整備計画との関連も考慮しながら、検討致します。 (3)教育用(授業用)の設備は、間接経費での整備の対象外となっております。ご了承ください。 (4)他研究費または直接経費についてのご意見として承りました。